



東安居小学校便り

【校訓】

明るく 仲よく たくましく



【第9号】

令和6年2月16日
福井市東安居小学校
校長 林 秀昭

教育目標

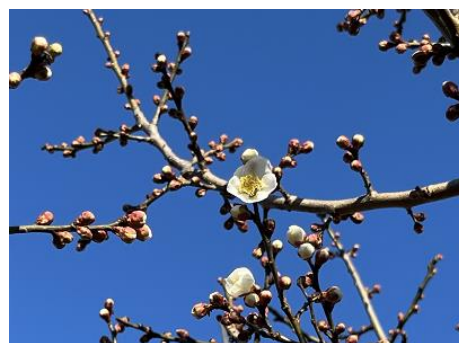
豊かな心を持ち 主体的に学び合い たくましく生きる子の育成

春の足音

先週末、爽やかな青空の下で花を開いた梅の花を見つけました。早朝は3輪の花でしたが、日中よく見ると周りのつぼみも大きく膨らんできて、今にも花を開かせようと待ち構えているようでした。ここ数日の暖かさで、例年より早く梅の開花が進んでいるようです。

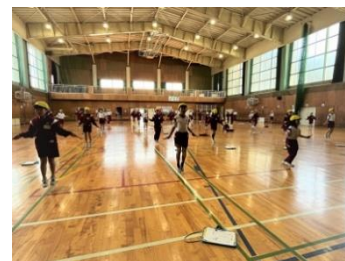
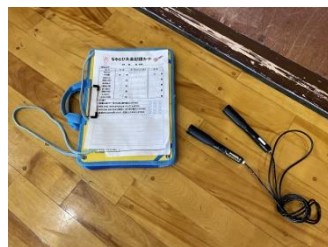
昨年から続く異常な天候で、本来なら2月の半ばは積雪があったり、氷点下の気温となったりしてまだまだ、寒さの厳しい時期に、あたかも春が訪れたような天候で皆さん驚かれていることだと思います。

さて、2月も中旬を過ぎると、6年生にとっては卒業までのカウントダウンが始まり、小学校生活の総仕上げの時期となります。また、1～5年生は、進級に向けて学年の総まとめの時期となってきます。そのような中、6年生は卒業に向けてしっかり心構えをするとともに、卒業式の練習も少しずつ始めています。1～5年生は、6年生に感謝の気持ちを伝え自分たちも一つ上の学年になるための心の準備を始めています。



縄跳び大会

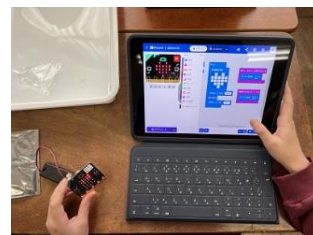
1月末の6年生をかわきりに、各学年で縄跳び大会が始まりました。器械運動が終わった後から持久飛びや様々な技能飛びに挑戦してきました。各学年が体育の時間をつかって、これまでの練習の成果を発表するために「縄跳び大会」として行っています。



プログラミング教室

5年生は、福井大学の学生さんに協力してもらい、プログラミング学習をしました。学習指導要領の改定に伴いプログラミングについて学ぶようになりました。現代社会にコンピュータは欠かせない存在となっています。コンピュータを活用していろいろな発見をしたり、身近な問題を解決する力をつけたりすることが求められています。

今回は、タブレットを使って、命令の手順を作成し、つくりたい形や文字をLEDを使って表現しました。大学生は、そのプログラムを考えたり、問題点を発見・解決したりするお手伝いをしてくれました。



光陽中学校授業体験・学校説明会

6年生は光陽中学校の授業体験と学校説明会に参加してきました。4月から始まる中学校生活において「わくわく」「ドキドキ」していることだと思います。このような時期に、中学校生活について知る機会があるのはとても助かります。中学校では、先生や生徒達からの中学校生活についての説明を聞いたり、授業体験をしたりしました。特に授業では、小学校にはない教科の体験もできて有意義に過ごすことができました。



わくわく交流デー

1年生は、4月に入学してくる園児達と交流しました。教室では、学校生活について説明したり、一緒に授業体験をしたりしました。体育館では、校歌の披露をした後、1年生が考えたゲームをして楽しい時間を過ごすことができました。

子供達は1月からみんなで協力しながら準備を進めてきました。途中インフルエンザの流行で苦労しましたが、当日はお互いに助け合いながら楽しい交流にすることができ、この一年でとても成長した姿を見ることができました。

